



2019年7月20日

各 位

会社名 日本社宅サービス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 笹 晃弘
 (コード番号 8945 東証第一部)
 問合せ先 取締役経理財務グループ長 吉田 勇
 (TEL. 03 - 5229 - 8700)

業績予想及び配当予想の修正 (増配)
 並びに次期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2018年8月10日に公表しました2019年6月期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

また、当社は、同取締役会において、次期(2020年6月期)連結業績予想及び配当予想についても決議しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2019年6月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年7月1日～2019年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,891	968	1,002	652	66.20
今回修正予想(B)	8,437	955	1,001	666	69.84
増減額(B-A)	△453	△12	△1	+13	
増減率(%)	△5.1	△1.3	△0.1	+2.1	
(ご参考)前期実績 (2018年6月期)	7,882	807	870	569	59.70

2019年6月期通期個別業績予想数値の修正 (2018年7月1日～2019年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,345	783	524	53.16
今回修正予想(B)	4,316	880	585	61.35
増減額(B-A)	△29	+97	+60	
増減率(%)	△0.7	+12.4	+11.6	
(ご参考)前期実績 (2018年6月期)	4,066	773	520	54.59

[修正の理由]

2019年6月期の通期業績予想につきましては、売上面は社宅管理事務代行事業において良好な市場環境を背景に継続的かつ安定的な成長に向けた新規受注の積み上げが堅調に推移したものの、新サービスや付帯サービスの開発において計画の遅れが生じました。また、施設総合管理事業においてマンション管理サービスの専有部に向けた推奨販売の取組み遅れや、不動産サービスの買取再販の計画未達等に

より、連結及び個別の業績見通しの売上高が当初予想を下回る見込みであります。

一方、利益面は社宅管理事務代行事業において、システム開発に関連したコストを中心に費用が計画を下回ったことにより、個別の業績見通しは利益が当初予想を上回る見込みであります。

2. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2018年8月10日発表)	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 19.00
今回修正予想	—	—	—	13.00	22.00
当期実績	—	9.00	—	—	—
前期実績 (2018年6月期)	—	8.00	—	10.00	18.00

[修正の理由]

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の重要な政策のひとつと考えており、そのうえで、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としながら、今後の事業展開等を勘案して決定することとしております。

当社の期末配当予想につきましては、2018年8月10日付にて1株当たり10円と公表しておりましたが、今期の業績見通しに加えて内部留保の累積状況や資金需要動向等を総合的に勘案した結果、増配が可能であるとの判断に至りましたので、1株当たりの期末配当を3円増配し、13円に修正いたします。

これにより、既に実施いたしました中間配当金9円と合わせ、年間配当金は1株当たり22円に修正いたします。

3. 次期業績予想

当社グループが2015年8月に発表した5ヵ年中期経営計画(2015年7月～2020年6月)の最終年度となる2020年6月期につきましては、社宅管理事務代行事業と施設総合管理事業の2つの基盤事業は概ね順調に推移しておりますが、新たな基盤事業の確立に向けた新規事業の推進には、遅れが生じております。

社宅管理事務代行事業においては、良好な市場環境を背景に新規受注の積み上げが堅調に推移したものの、一部解約の発生や付帯サービス及び新サービスの取組み遅れが生じたこと、また、施設総合管理事業では、付帯収益の拡大に向けた取組みのひとつであるリフォームサービスの体制整備に時間を要したことなどから、2020年6月期においても、連結売上高及び営業利益はじめ各利益とも過去最高を更新する計画ではあるものの、中期経営計画の目標値には届かない見通しであります。

また、今後のさらなる規模拡大や生産性向上への投資について、すでに公表している5ヵ年中期経営計画以上に、その規模を拡大する計画としたことから、償却を含めた費用の拡大により、次期の連結業績は売上高9,480百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益1,055百万円(同10.5%増)、経常利益1,103百万円(同10.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益715百万円(同7.4%増)また、個別業績は売上高4,605百万円(前年同期比6.7%増)、経常利益851百万円(同3.3%減)、当期純利益560百万円(同4.3%減)に留まる見通しであります。よって、次期の業績予想数値は次のとおりとなります。

2020年6月期通期連結業績予想数値（2019年7月1日～2020年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2020年6月期 通期	百万円 9,480	百万円 1,055	百万円 1,103	百万円 715	円 銭 74.00

2020年6月期通期個別業績予想数値（2019年7月1日～2020年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2020年6月期 通期	百万円 4,605	百万円 851	百万円 560	円 銭 57.95

4. 次期配当予想

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
次期予想 (2020年6月期)	13円	13円	26円
当期実績及び予想 (2019年6月期)	9円	13円	22円

[次期の配当]

当社は5ヵ年中期経営計画の最終年度を迎えるにあたり、配当還元に関する経営指標については概ね達成できる見通しが立ったことを踏まえ、配当の引き上げを行い、より一層の株主還元を図りつつ、安定的かつ継続的な株主還元の充実を図っていく所存であります。

上記方針に基づき、2020年6月期につきましては1株当たり年間配当金を、2019年6月期より4円増配の26円00銭（中間配当13円00銭含む）としました。

（注）本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上